

水泳能力測定



令和5年10月19日

令和5年10月19日、入隊時における水泳能力測定が行われました。運動能力測定と同様に現在の水泳能力を把握するために実施します。

海上自衛官は洋上で勤務する機会が多いことから、万が一のことがあった場合に備えて、一定の水泳能力を身に着けておかなければいけません。命に直結することなので、水泳は体育の必修種目の一つになっています。



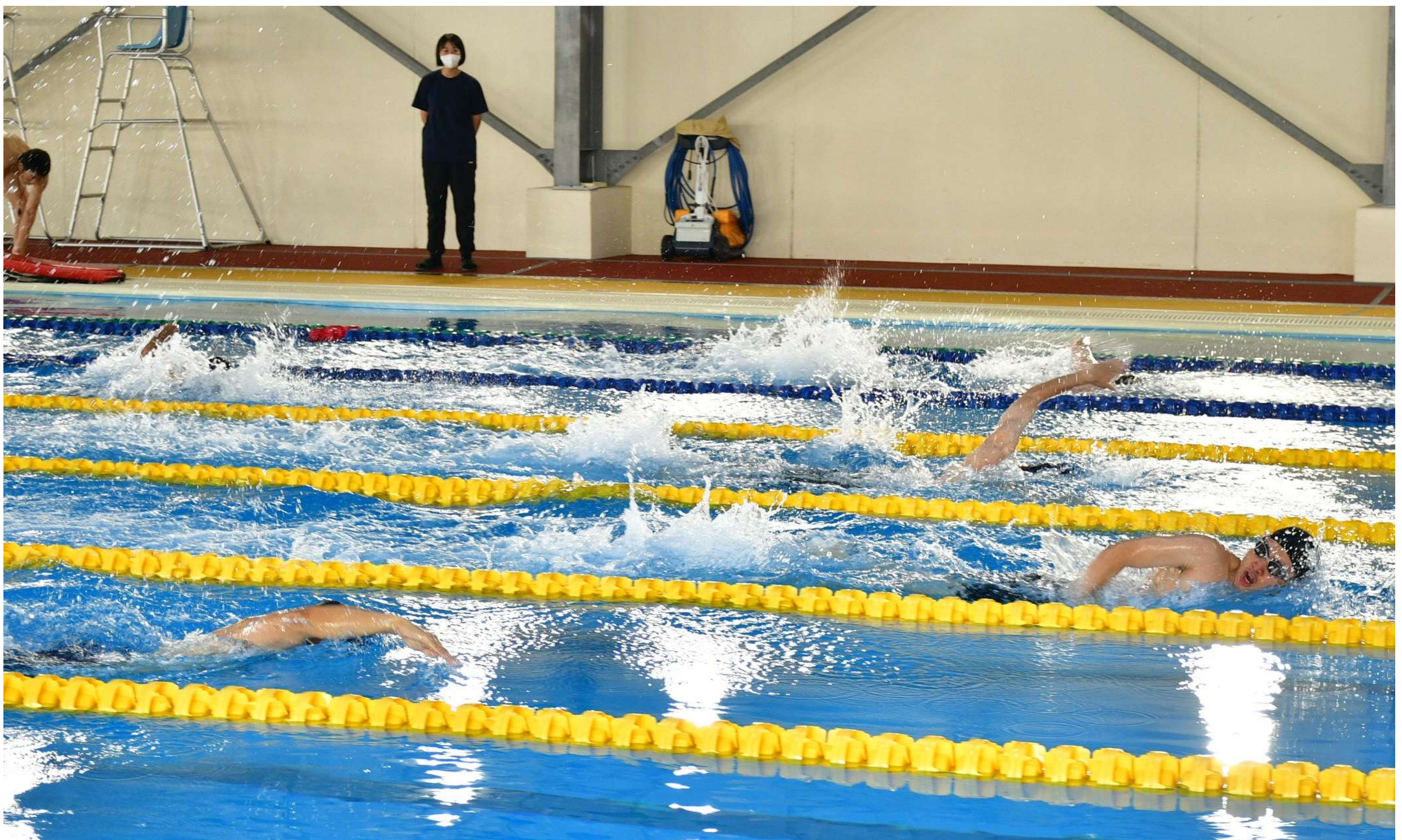
測定は、平泳ぎと自由形（クロール）の2種類を行います。測定前に泳法の説明とスタートの仕方について説明が行われました。過去、飛び込み時に誤った方法で行ったために怪我をしたという事例があり、教育を受け安全に飛び込みできることを確認したうえで実施させなければならないため、学生の中には水泳経験者もいますが、今回については水中からのスタートで統一して測定を行いました。

平泳ぎ





自由形 (クロール)





今回の測定で基準に達していない学生も心配
いりません。泳げるようになるまで体育教官が
手取り足取り徹底的に特訓（通称：赤帽訓練）
してくれますよ。スイミングスクールに行かな
くてもタダで50m温水プールを使えて、しか
も泳げるように教育してもらえるなんてつい
てますね(笑)

一生懸命訓練すれば、きっと修業時には基準
タイムを切る事ができるようになるはずです。